

道化師 二

佐藤

高橋

中村

山本

井上

松田

石川

あらすじ

臨時教師を名乗る佐藤が現れ、「夢とは何か」「天才とは何か」を生徒に問い続ける特別授業。笑いと挑発の中で揺れる価値観。それぞれが一步を踏み出した放課後、教室に小さな違和感が残る――。

ある中学生での休み時間でクラスメイトたちが談笑している。

松田 井上さん、見ましたよ。ピアノの地区大会優勝おめでとうございます。

井上 あ、ありがとう。

松田 いやー、素敵な演奏でした。やっぱり才能がありますよ。

井上 いや、そうでもないよ。県大会は予選で落ちちゃったし、まだまだ全然だよ・・・あれ、って言うかさ、山本、また靴新しくしたの？

山本 そうなんだよね。

井上 へえー、良い感じだね。

中村 お前は、良いよな、一つのもの大事にできないし、部活でも大して成果もあげない癖に、すぐ、新しい靴買って貰ってよ。

松田 そんな言い方ないでしょ、山本君はとても優しい性格で部活だってちゃんと行っているんだから。

石川 それに、山本君が物を大事にしないっていうことは、100%ない!!
そうだと、そんなことは、99%ないぞ、

中村 ・・・・なんで、1%下がった？

石川 いや、それはね、前、テレビで洗剤のCMを見たとき、
99.9%除菌!! ってキャッチコピーが流れてきたから、

何で？100%除菌じゃないのかなと思って、親に聞いてみたら、菌を100%除菌してしまうと、逆に体調を崩すんだって、だから100%は体に良くない。

だから、99%そんなことない!!

中村 ・・・じゃ、99.9%そんなことないって言えよ。

石川 まあまあ、それはいいじゃない。

中村 疑ってるじゃねえかよ!!

山本 石川、君に炭酸ジュースをやろう

石川 99.9%そんなことはない!!!

中村 ジュースは0.9%以上の価値はあるぞ

（学校のチャイム 佐藤が上手から登場）

佐藤 はいはい、席についてください皆さん

（生徒がざわつく）

石川 誰々？

佐藤 この授業だけ、高橋先生に代わり担任を務めます。佐藤です。

皆さん、よろしくお願いします。

中村 そんな先生いたか？

井上 いや、分かんないな

佐藤 今日から、新任だね。

まあ、自己紹介もこのくらいにして、皆さん席について授業を始めましょう。

（生徒は自分の席に着く 上手の机・・・松田、山本、石川）

（生徒は自分の席に着く 下手の机・・・中村、井上）

佐藤 じゃ、今回の授業は、ある話を読んで、皆で話し合ってもらいます。

じゃ、早速、先生が読んでいきますね。

（先生にスポットライト）

あるところに、貧しいが腕の良い道化師がいた。彼は大舞台に立つことを夢見ていた。ある日、父を亡くし母も不在で寂しい少年に出会い、手品を見せて喜ばせた。そして、少年に「明日も来てくれる？」と頼まれ、「必ず来る」と約束する。すると、その夜、友人から「明日の大劇場で代役を探している」と連絡があり、夢のチャンスが訪れる。しかし道化師は「先約がある」と断り、翌日少年の前で手品を披露しました。

（スポットライト解除）

さっ、皆さんが、もし、道化師だったらどうしますか？

山本 はい（手を挙げる）

佐藤 はい、山本さん

山本 はい、僕なら少年との約束を守ります。約束を先にしたので、

ここは誠意を見せて、少年との約束を、守るべきだと思います。

佐藤 なるほどね。

ほかに？

松田 はい

佐藤 はい、松田さん

松田 はい、（立つ）私も、山本さんと同じで、ここは、友人の誘いを断って、少年との約束を守ることが正解だと思います。

佐藤 他には？ ないですか

山本 普通に考えて、ここは、少年との約束を守ることが正解だよな

石川 絶対そうだろ。

・・・

井上 は、はい

佐藤 はい、井上さん

井上 はい、僕が道化師なら、自分の夢を優先して・・・

大きな劇場に立つと思います。

（石川・松田・山本がざわざわする）

佐藤 なるほどね。

松田 はい、

佐藤 はい、松田さん

松田 はい、さっきも言いましたが、ここは、正直に少年との約束を守ることが正解だと思います。

佐藤 なるほど・・・

中村 はあり、はい

佐藤 はい、中村さん

中村 はい、俺が、道化師なら、絶対に、少年との約束を破って大きな劇場に行くと思います。

（石川・松田・山本・井上がざわざわする）

佐藤 なんて？

中村 だって、俺、貧しいんですよ。なら、絶対に劇場でしょ。絶対に!!

誠実？夢？そんなきれいな言ってる場合じゃないでしょ。
なるほどね

佐藤
松田

はい

佐藤
松田

はい、松田さん

はい私は、少年との約束を守った方がいいという意見ですが
夢を持つことは、とてもいいことだと思います。

中村

なんで？

松田

は?!

中村

なんで、夢を持つことが、良いことなんですか？

松田

それは、夢が素晴らしいからに決まってるじゃん

中村

なんだそれw

佐藤
ストップ、ストップ松田さん、落ち着いて、自分の席について・・・でも、
その疑問面白いね。

佐藤

では、皆さん、「夢って何ですか？」

石川

はい

佐藤

はい、石川さん

石川

はい、すw、素晴らしいもの、ですかね？

佐藤

つまんない。他には？

・・・

井上

はい

佐藤

はい、井上さん

井上

はい明日を生きようと思う活力ですかね

佐藤

そうか、君は、夢がなかったら死ぬのか？

井上

い、いえ

中村

は、おい、山本、スマホ貸せ!!

山本

は？今、授業中だろ

中村

いいから

佐藤

どうしたんだい？中村さん

中村

おい、山本。パスワードなんだ？

山本

お前の誕生日

中村

嘘だろ、マジじゃん、何で？

山本

友達の誕生日覚えてくたえ。

中村

炭酸ジュース、俺が奢るわ。

山本 やったゝ

佐藤 で、どうしたんだ？

中村 夢だろゝ、夢とは、将来の目標や希望、願望を示す。具体的には、職業的夢・・・

佐藤 その目線の先にはねえよ、ガキ!!

中村 じゃ、お前は、分かるのか？先生よゝ

佐藤 そんなもの、分かるわけないだろ。

中村 何だよ、それw、お前も分からないのかよw

佐藤 そうだ

中村 じゃ、偉そうにするなよ。

佐藤 なら、お前も偉そうに夢を笑うな

松田 さて、夢、自体が、分からないけど、皆には、夢はありますか？

松田 はい

佐藤 はい、松田さん

松田 はい私は、先生になりたいです。

佐藤 なるほど、良い夢だ。

他にいるか？

井上 は、はい

佐藤 はい、井上さん

井上 はい僕は、プロの音楽家になりたいです。

佐藤 いいね

山本 はい（手を挙げる）

佐藤 はい、山本さん

山本 はい俺は、親の会社を継ぎたい、継いで立派な大人になりたい

佐藤 いいね、偉いなゝ

中村 はゝ、はい

佐藤 はい、中村さん

中村 はい正直、俺に将来の夢はない。なぜなら、だいたい夢なんて叶わないだろ。だから、持つだけ無駄だ。

（石川・松田・山本・井上がざわざわする）

佐藤 なるほど・・・おもしろい

中村 だか、夢を持つことは、すべて無駄になることもない

中村 なぜですか？

佐藤 私がそうだからな。

石川 そういえば、先生の夢って何ですか？

佐藤 今は、ないけど

中村 ないのかよw

佐藤 でも、先生が君たちくらいの時、先生にも確かに夢があった

石川 何ですか？

佐藤 先生の将来の夢は、神だ

生徒一同 は？

佐藤 I want to be God.

生徒一同 （大爆笑）

中村 （机を叩きながら突っ伏して笑う）

松田 （笑いを我慢する）

石川 なれるわけねえだろ!!

佐藤 お前は、本当につまんないな

だが、確かに言うとおりだ。なれない。神には。

だが、「何者かになりたい」当時の俺は考えた。神にはなれないが、
天才にならなれる。

そこで、皆さん、天才とは、何ですか？

松田 はい

佐藤 はい、松田さん

松田 はい「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である」という

名言があるように、たとえば才能が無くてもたくさん努力できる人が、天才
だと思えます。

佐藤 なるほど、「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である」・・・

俺は、これが嫌いだ!!

中村 何ですか？

佐藤 だって、才能じゃん、世の中。

井上 そうなんですか？

佐藤 そうだろ。だって、「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である」つ
てき、天才を成分表示で見たら、1%のひらめきってしょぼいかも知れな
いけど、1%のひらめきって、100人いたら1人しか持っていない考え
方が1%のひらめきだぜ
それを、世間では才能と呼ぶ。

俺だって、神になりたいから、99%とは言わないが、5〜60%の努力はした。長い白い布1枚を体に巻き付けてポーズを取ってみたい、あ、フルーツも持ってみたりもした。休日2間、公園に行って三つ葉のクローバーで髪飾りを作ってみたりもした。

あ、ちなみに四つ葉は無かった、そして、神になる努力、略して神努力神努力56%の時に、俺は気付いたね。俺には、才能が無い。この努力を7,80%、いや99.9%になるまで続けても、100%神にはなれない、俺には0.1%も才能が無いから、

だから、お前（井上）が羨ましいよ。お前には、確実に1%以上の才能がある。だから、なれる可能性がある。天才に。

中村

可能性かよ。

松田

可能性でもいいんだよ。「千里の道も一歩から」だからね。

佐藤

松田は本当にいいことを言うな。

松田

ありがとうございます。

佐藤

「千里の道も一歩から」（板書）実にいい言葉だ。

・・・俺は、これも嫌いだがな。

中村

なんでなんです？

佐藤

「千里の道も一歩から」だ〜?!

「千里の道はだな、40里からだ」

中村

どういう意味ですか？

佐藤

じゃ、お前ら、冬、10kmマラソンあるよな。

生徒一同（ブーイング）

佐藤

スタートする前、確かに、はじめの一步はとても緊張する。スタートで足がもつれて、こけるかも知れない。

だが、お前らは、走ってて、一番キツイと感じたのは、ピストルが鳴った瞬間の第一歩目か？

多分、違うだろ、戻ろうにも、戻れない、進むにしても、先は見えない程遠い。4kmあたりじゃないのか？ここで、次の一步が出るかでないかが大事だと俺は思う。

だから、俺は、神努力中の土日、4時間、公園で、四つ葉のクローバーを探した。この時間が大事だと思って

中村

見つかってないし、寄り道過ぎるだろ。

佐藤

うるせえ、つまみだすぞ!!

佐藤 とにかく、天才とは、どれだけ、光らない1%の努力を積み重ねて、才能を光らせる人のことを言うって俺は思う。だから、頑張ってくれ井上。

井上 は、はい

佐藤 ああ、そうだ山本は、親の会社を継いで、立派な人間になりたいんだよな

山本 はい

佐藤 なら、いろんな人が言うことを、まず、一旦素直に聞くことだな。

山本 はい？

佐藤 最近の時代は、十二支よりもハラスメントの数がある。

そして、とても世間が敏感になってきている。

先に、謝っておく、

佐藤 さっきは、ガキとか言ってごめんなさい。

中村 あ、はい

佐藤 多分、世の中年は、世間と若者にビビってる!!

あとは、そういうことを頻繁にいう若者は、無視される、そして、仕事を任せてもらえなくなる。最後には、無能の完成だ。だから、時代に振り落とされるなよ。

後、中村

中村 はい、

佐藤 夢は叶わないから、夢をイメージできないって意見だが、

大体、それは正解だ。だが、俺は、君には、夢やきれいごとを諦める大人になることはいいが、夢やきれいごとを捨てる大人になってほしくはないは、はい

佐藤 さ、そろそろ授業を終わりにしようか。

井上 (机をピアノと見立てて、クソでかピアノを弾く)

石川 何やってんの？

井上 努力

中村 何%？

井上 シッ、しゃべりかけんといて、今音が降りてきそうやから。

佐藤 何それ、天才ぽい。ちよっと、もう一回言ってメモするから。

中村 ちよっと、キモいな

佐藤 はい、ハラスメント！

中村 めんどくさ

佐藤 ちよっ、悔しいから、あと5秒後にチャイムなるから、

井上、チャイムの音階当ててみて

井上 はい。

（学校のチャイム）

井上 ラ・ソ・ファ・ド／ラ・ソ・ファ・ド／ラ・ソ・ファ・ド／ラ・ソ・ファ・ド

佐藤 ド・ミ・レ・ソ／ド・レ・ミ・ド／ミ・ド・レ・ソ／ソ・レ・ミ・ドな

井上 えっ、そうなんですか？何で分かったんですか？

佐藤 神なめんなよ!!

中村 （腕組みながら上向いて大爆笑）

松田 （大爆笑）

中村 神じゃねえだろ!!

佐藤 では、皆さん、これにて授業を終わります。起立

生徒一同 （起立する）

佐藤 ありがとうございます。

生徒一同 ありがとうございます。

（佐藤上手に退場・暗転）

（明転）

山本 （早々に帰る準備をする）

中村 どうした？

山本 せっかく、新しく靴買ってもらったから、ちょっと、部活早く行って練習しよって思っ

中村 そうか、頑張れよ。

（高橋下手から登場）

高橋 よし、お前ら席につけ、授業するぞ

松田 もう、授業やり終わりましたけど・・・時計も

高橋 は？あつ、この時計壊れてるな。

じゃなくて、今から授業開始だぞ。多分もうすぐ、チャイムなるし
・・・

（学校のチャイム）

高橋 ほら、ていうか、俺以外の誰が授業したんだ？

松田 佐藤先生ですけど・・・

高橋 は？うちの学校に佐藤なんて苗字の先生はいないぞ

生徒一同 えっ

（暗転）完

